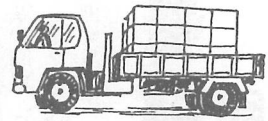




## 年末年始の事故防止



# 無理な追い越しや横断が思わぬ事故を招く

町村別交通事故死者数の状況

順位	区分	平成5年	平成4年	増減
1	白里町	10	3	+7
2	大網白里町	9	5	+4
3	成沼町	7	4	+3
3	芝山町	7	2	+5
5	白横本町	6	0	+6
5	白横本町	6	1	+5
8	西岡町	5	0	+5
8	飯岡町	5	2	+3
8	大栄町	5	2	+3
8	大栄町	5	4	+1
...	...	...	...	...
...	...	...	...	...
42	白浜町	0	1	-1
	計	125	92	+30

(50町村=11月10日現在)

年末は人の行き来が多くなり、交通渋滞や雑踏が予想されます。先を急ぐあまり、ドライバーはスピードの出し過ぎや無理な追い越しで、歩行者は信号無視や無理な横断で思わぬ事故を招きやすくなります。

昨年1年間だけでも、全国で1万1千人以上(1日に約30人)の尊い命が失われています。現在横芝町では6件の死亡事故が発生しており、県内でワースト5(町村別)となっています(表参照)。決して他人ごとではありません。もう一度交通安全について家族みんなで話し合ってみましょう。

多くになります。少しでもお酒を飲んだら、車やバイクの運転は絶対に行わないでください。

●シートベルトは、あなたの大切な命を事故から守ります。今までの統計からみると、自動車乗車中亡くなった人の約8割が、シートベルトをしていませんでした。着用していれば、4割の人は命が助かったと考えられます。車に乗ったら、全員がシートベルトを締めましょう。

●歩行者の注意点  
飛び出しや、車の直前・直後の横断は非常に危険ですので、遠まわりでも必ず横断歩道や歩道橋を渡りましょう。

●横断歩道を渡る時でも、左右の安全を確かめてから渡ってください。

●道路を歩くときはいつでも気持ちを引き締めて、車に十分注意して歩きましょう。

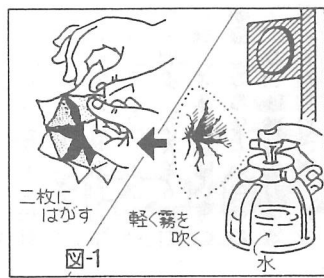


図-1

初めに、ノリといらなくなつた古いはがき、針と糸、それに筆を用意します。ふすまの紙は、上張りとは張りの二枚になっていきます。まず、破れた個所に霧を軽く吹いて湿らせ、くっついて上張りとは張りをはがします(図1参照)。

そして、中央に針で糸を通した古いはがきを、はがした上張りとは張りの紙の間に差し込みます。このとき糸は、はがきの裏で結び玉をつくり、抜けない



⑥

## ふすまの補修 はがきを使って元どおり

ふすまを破れたままにしておくのは、見苦しいものです。少しぐらいの破損でしたら、ちょっとした工夫で簡単に直すことができます。

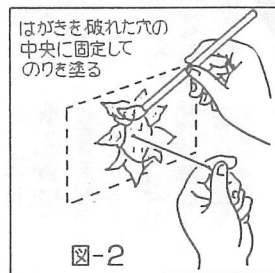


図-2

ようにとめておきます。この糸を引っ張りながら、はがきの中心が破れの中心にいくように調整します。はがきの位置が決まったら、家庭にあるノリを濃いに水に溶かし、筆を使ってはがき全体を上張りの紙にたっぷり塗ります(図2参照)。このとき上張りの紙を引っ張って、ちぎってしまわないよう気をつけましょう。そして上張りの紙を元どおりに合わせるようにしてはがきに張りつけます。へこまないように糸を引っ張り、合わせ目にシワができないように、ていねいになでつけるのが上手に仕上げるコツ。糸は、張り終わった後切り取ります。

上張りの紙がちぎれてしまつたら、きれいな千代紙かふすま紙などを切って、上から張りつけておくといいでしょ。